

在宅医療・介護における 感染管理ハンドブック

監 修：メ谷 直人(国際医療福祉大学)
編 集：高橋 峰子(医療法人 横浜柏堤会 戸塚共立第1病院 感染管理室)
鈴木 高弘(日本調剤株式会社 薬剤本部 /
東北大学大学院 薬学研究科 生活習慣病治療薬学分野)
判 型：A5版 126頁 4色刷り 定価(2,500円+税)
出 版 社：株式会社 宇宙堂八木書店 2018年5月

日本は超高齢化社会に突入し、80歳以上の高齢者は1千万人を超えている。このような状況において、介護のニーズは益々増加しているが、多くの課題を抱えている。感染管理の問題もそのひとつであり、以前よりインフルエンザやノロウイルス感染症などの施設内感染はしばしば起こってきたし、最近では介護施設における耐性菌の拡大が指摘されている。

厚生労働省は「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」を平成25年3月に公開し、介護における感染管理の参考にされている。私もこのマニュアルの作成に関わらせて頂いたが、介護施設によって大きく状況が異なり、介護における感染対策を標準化することの難しさを実感した。

そのような状況において、現場に即したわかりやすい情報が求められており、本書はそのニーズにまさに答えられる内容と考えられる。特に本書の秀逸な点としては、現場のスタッフがしばしば疑問に感じるような問題に具体的に答えている点である。例えば、「咳をしている人にマスクをしてくださいと言

いにくい場合、どうすればいいですか?」「カニューラはどれくらいの頻度で交換すれば良いですか?」「胃瘻でも口腔ケアは必要ですか?」といった質問にも丁寧に答えている。

また、本書は施設における介護だけでなく、在宅医療も想定した内容となっており、在宅で介護にあたる家族にとっても、どのような介護が適切なのかを具体的に知ることができる良書であると言える。本書の執筆を担当しておられる先生方はどなたも各領域におけるエキスパートである。筆者らが自ら苦労した経験を基に、介護に関わっている人達にわかりやすく説明しようとする熱意は文章だけでなく図表を多く掲載していることから感じられる。

価格も本体2,500円+税と手頃であり、多くの方々に読んでいただき、活用してもらいたい書籍である。

(松本哲哉：国際医療福祉大学医学部
感染症学講座 主任教授)